

春季リーグの開幕は大分で

初の地方開催 本学初戦は駒澤大戦

——東都大学野球春季リーグ戦——

開幕は初の地方で——創立 90 年を超す東都大学野球連盟は、2022 年の春季リーグ戦の開幕戦を初めて地方会場(大分県)で行うことを発表しました。4 月 2 日(土)からの開幕カードを、別大興産スタジアム(大洲総合運動公園)で行うというものです。

初戦は対駒澤大戦で、2 日の第 3 試合(15 時開始予定)です。またこの春季リーグ戦では、従来の勝ち点制(2 勝)に戻すことになっています。2 戦総当たりでの勝率制から元の勝ち点制に戻ることとなります。

このたびの初の地方開幕・開催については、神宮球場の使用料がかさむなど連盟の財政状況が厳しいことと、地方の大学(あるいはリーグ)が強化し、以前と比べると地方の高校球児が東京に進学しなくなっていることなどが背景にあります。そのため、東都の認知度を上げ、存在をアピールする狙いがあります。

開幕前日(4 月 1 日)にはオープニングセレモニーや開会式のほか、交流イベントや抽選会なども行う予定です。各大学の OB(亜大からは阿波野秀幸氏)によるスペシャルトークショーや大学説明会などもイベントの中に組み込まれています。

開幕カードの第 2 戦は、4 月 3 日(日)午後 2 時開始予定です。その後の試合日程などは東都大学野球連盟のホームページでご確認ください。

<http://www.tohto-bbl.com/>